古文ドリル：「ば」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト〜難関私大・国公立二次まで） **著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ば」の正体（接続で決まる）

古文の接続助詞「ば」は、**直前の活用形（未然形か已然形か）で意味がまったく変わります**。ここを取り違えると訳が逆になり、読解で大きく失点します。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 順接仮定条件	**未然形**＋ば	もし〜なら（まだ起きていない仮定）	降ら**ば**
② 順接確定条件	**已然形**＋ば	〜ので／〜と（すでに・当然起こる）	降れ**ば**
③ 「をば」	格助詞「を」＋係助詞「は」	条件の意味なし（強調）	花を**ば**

②已然形＋ばは、さらに3つの訳を文脈で見分けます。

- (a) 原因・理由「〜ので」 例：花咲け**ば**春なり（花が咲くので春だ）
- (b) 偶然条件「〜と・〜したところ」 例：門を開（ひら）け**ば**人あり（門を開けると人がいた）
- (c) 恒常条件「〜と（いつも・必ず）」 例：春になれ**ば**花咲く（春になるときまって花が咲く）

識別の鉄則

1. **意味より先に「ばの直前の形」を見る**。これが最重要。
2. **未然形＋ば** → 仮定「もし〜なら」。後ろに意志・推量・打消意志（む・じ・べし等）が来やすい。
3. **已然形＋ば** → 確定「〜ので／〜と」。すでに起きた事・当然の事。
4. 四段動詞は音で判断できる：**直前がア段（行か・降ら）＝未然形／エ段（行け・降れ）＝已然形**。
5. ただし**変格活用・二段活用は形で判断**（サ変＝せ／すれ、カ変＝こ／くれ、ラ変＝あら／あれ、ナ変＝死な／死ぬれ、上一＝見／見れ、上二＝起き／起くれ、下二＝受け／受くれ）。
6. **「をば」の「ば」は別物**。格助詞「を」＋係助詞「は」が濁音化したもので、条件の意味はない。訳は無視してよい。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 四段動詞は「直前の母音」で即決

- **ア段＋ば**（書か・行か・思は・降ら）→ **未然形＋ば**（仮定「もし〜なら」）
- **エ段＋ば**（書け・行け・思へ・降れ）→ **已然形＋ば**（確定「〜ので／〜と」）

コツ② 変格・二段は「形」で覚える

- 「せ**ば**」（サ変未然）「こ**ば**」（カ変未然）「あら**ば**」（ラ変未然）「死な**ば**」（ナ変未然）→ **仮定**
- 「すれ**ば**」「くれ**ば**」「あれ**ば**」「死ぬれ**ば**」→ **確定**
- 二段は「起き**ば**（未然）／起くれ**ば**（已然）」「受け**ば**（未然）／受くれ**ば**（已然）」

コツ③ 已然形＋ばは「ので・と」で処理して訳を選ぶ

- 理由なら「〜ので」、たまたまの発見なら「〜と・〜したところ」、いつもの法則なら「〜と（必ず）」。

コツ④ 「をば」を見たら条件と考えない

- 「花をば」「月をば」「人をば」の「ば」は係助詞「は」。強調だけで、訳は「花を／月を／人を」と同じ。

よくある引っかけ

- 四段の已然形と命令形は同形（「行け」）。**「ば」が付くのは已然形**。
- 「ずは・くは」（打消・形容詞の未然形＋ば相当）は**仮定**「〜ないなら／〜ならば」。※「ず」「く」を連用形、「は」を係助詞とみる説も有力（諸説あり）。どちらでも訳は同じ。
- 「**せば〜まし**」「**ましかば〜まし**」は**反実仮想**（もし〜だったら…だろうに）。条件節は未然形相当。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

【第1部】基礎編（Q1〜Q20）

四段動詞中心に、未然形＋ば（仮定）と已然形＋ば（確定）を純粋に見分ける。

Q1. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降らば出でじ。

Q2. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降れば出でず。

Q3. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花咲かば見む。

Q4. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花咲けば春なり。

Q5. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行かば告げよ。

Q6. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行けば人あり。

Q7. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 思はば言へ。

Q8. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 思へば悲し。

Q9. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 風吹かば散りなむ。

Q10. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 風吹けば散る。

Q11. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 待たば来む。

Q12. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 待てば来たる。

Q13. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 聞かば驚かむ。

Q14. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 聞けばあはれなり。

Q15. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 散らば惜しからむ。

Q16. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 春来れば花咲く。

Q17. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命あらばまた会はむ。

Q18. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命あれば頼もし。

Q19. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 死なばもろともに。

Q20. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 日暮るれば帰る。

【第2部】標準編（Q21〜Q50）

已然形＋ばの3つの訳（原因理由・偶然条件・恒常条件）を文脈で訳し分ける問題を中心に。

Q21. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雪降れ**ば**道見えず。

Q22. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 戸を開くれ**ば**月さし入る。

Q23. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 秋来れ**ば**虫鳴く。

Q24. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 病重けれ**ば**起きも上がらず。

Q25. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 山路を行け**ば**滝あり。

Q26. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 月いづれ**ば**影さやけし。

Q27. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 風冷たければ袖寒し。

Q28. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 門に立てれば人出で来。

Q29. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 年暮るれば雪降る。

Q30. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 涙落つれば文字も見えず。

Q31. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 春にならば訪ね来む。

Q32. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 春になれば花咲く。

Q33. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨やまば帰らむ。

Q34. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雨やめば出でぬ。

Q35. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 君来ば待たむ。

Q36. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 君来ればうれし。

Q37. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 文見ば返事せむ。

Q38. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 文見れば涙落つ。

Q39. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降らばいかにせむ。

Q40. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鐘鳴れば人集まる。

Q41. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 灯火近づくれば虫寄る。

Q42. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 命長からば恥多し。

Q43. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 日高くなれば暑し。

Q44. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 人問はば何と答へむ。

Q45. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 人問へばありのままに語る。

Q46. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 川を渡れば里に出づ。

Q47. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心あらば問へかし。

Q48. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 思ひ出づれ**ば**今も悲し。

Q49. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 雨降ら**ば**降れ。

Q50. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 時来れ**ば**花おのづから開く。

【第3部】応用編（Q51〜Q80）

変格・二段活用の見分け、「ずは・くは」、「をば」、紛らわしい識別を実戦的に。

Q51. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花を**ば**惜しむ。

Q52. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 月を**ば**見ず。

Q53. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 雨降らず**は**出でむ。

Q54. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 名を惜しまば退くな。

Q55. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> すればかなふ。

Q56. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> せばいかならむ。

Q57. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 起きば告げよ。

Q58. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 起くればば夜明けたり。

Q59. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 受けば返さむ。

Q60. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 受くればば喜ぶ。

Q61. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 死なば死ね。

Q62. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 死ぬれば皆悲しむ。

Q63. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 来（こ）ばいかに。

Q64. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 急がずは日暮れぬべし。

Q65. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 数多ければ選びがたし。

Q66. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 心づきなくは帰らむ。

Q67. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 風吹けば波立つ。

Q68. 次の傍線部「は」を識別せよ。

> 露しげくは袖濡れむ。

Q69. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我あらば守らむ。

Q70. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 我あれば安し。

Q71. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 蹴ば痛からむ。

Q72. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 蹴れば転ぶ。

Q73. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我をば頼め。

Q74. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鳥鳴けば夜明く。

Q75. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 行かば行け。

Q76. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 涙の川渡れば袖濡る。

Q77. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 世の中を厭はば山に入れ。

Q78. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 世を厭へば心安し。

Q79. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 言はば言へ。

Q80. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雪消ゆれば草青む。

【第4部】入試レベル（Q81〜Q100）

反実仮想（せば〜まし）、有名出典、係り結びとの複合など実戦レベルで総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 世の中にたえて桜のなかりせ**ば**春の心はのどけからまし。（古今集・在原業平）

Q82. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 鏡に色・形あら**ば**映らじを。

Q83. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 花の散るを**ば**惜しむ。

Q84. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心あら**ば**ぬしに告げてよ。

Q85. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 名にし負は**ば**いざ言問はむ。（伊勢物語）

Q86. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 月見れ**ば**ちぢにものこそ悲しけれ。（古今集・大江千里）

Q87. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 散ら**ば**散れ風な吹きそ。

Q88. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む。（古今集・在原行平）

Q89. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 思ひつつ寝ればや人の見えつらむ。（古今集・小野小町）

Q90. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> いざ給へ。雨降らぬさきに帰らばや。

Q91. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 命あればこそ、かかる世にも会へ。

Q92. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我死なば焼くな埋むな。

Q93. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 雨の降れば、え出で立たず。

Q94. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> あらばあれ、なくてもありなむ。

Q95. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 玉なれ**ば**こそ光れ。

Q96. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 我にもし羽あら**ば**飛びて行かまし。

Q97. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 鶏鳴け**ば**東白む。

Q98. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

> 心にもあらで憂き世にながらへ**ば**恋しかるべき夜半の月かな。（後拾遺集・三条院）

Q99. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

> 山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へ**ば**。（古今集・源宗于）

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「ば」の直前の活用形をもう一度確認しましょう。

- **未然形＋ば**…仮定「もし〜なら」。四段はア段（降ら・行か）、変格はせ／こ／あら／死な、二段はi段・e段（起き・受け・越え）、上一は見、下一は蹴。後ろに意志・推量・命令・打消意志が来やすい。
- **已然形＋ば**…確定「〜ので／〜と」。四段はエ段（降れ・行け）、変格はすれ／くれ／あれ／死ぬれ、二段は〜くれ／〜ゆれ。①原因理由「ので」②偶然「〜と・〜したところ」③恒常「〜と（いつも）」を文脈で訳し分ける。
- **「をば」**…格助詞「を」＋係助詞「は」。条件ではなく強調。訳は無視してよい。
- **「ずは・くは」**…未然形相当に付く仮定「もし〜ないなら／〜ようなら」。
- **「せば〜まし」「ば〜まし」**…反実仮想「もし〜だったら…だろうに」。

「ば」を見たら、意味より先に**直前の形**。この習慣が入試本番の安定した得点につながります。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「なり」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。
誰でも古典塾（https://kotennosennsei.com）　／ 個別指導塾フィット・中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太　https://kotennosennsei.com